

## 第33回 走るミニタンクシリーズ 74式戦車(タミヤ)の巻



昨今注目を集めているタミヤの1/48AFV、実は過去に商品展開されていました。今回は組立済走行モデルとして発売されたかつての1/48シリーズから74式戦車を取り上げます。数年前にキット状態のものが再販されたのですが手元に無く記憶も不鮮明なので、この組立済モデルを見ながら書く事にします。小学生の頃の、学校の向かいの文房具店の話を以前に紹介しましたが、当時子供だけで買うことが出来たのは専らゼンマイ動力のプラモデルで、その殆どは自動車でした。モーターで走るプラモデルは何か特別な日(誕生日とか親戚の人が来たとき等)でなければ手にすることは叶わなかったのです。今日「モーターライズ」という言葉に心ときめく人間の多くは、幼少時に「モーターで走るプラモデル」に飢えていたのではないかと自分を鑑みて思う訳です。



キットデータ	
メーカー	タミヤ
スケール	1/48
当時価格	1000円(税抜)

さて今回は特別企画として、このキットの走行テストを行ってみました。ちなみに電源は単3電池二本をこのように内蔵します。ビデオ撮影したものをご覧下さい。予想以上に快適な走りです。実物の戦車のエンジン音は聞いたことが無いのですが、音もそれっぽくて好感が持てます。外箱には40度の登坂性能が謳われており、こちらも実験してみました(動画)。角度は適当ですが、苦も無く昇っていく様子がご覧頂けると思います。驚異の登坂性能といつても良いでしょう。足廻りは実は改良されているのかもしれません(確認できる資料は有りません)。惜しむらくは直進しか出来ないのですが、全国的に登坂タイムレースなんかが展開されていればミニ四駆のようなブームになったかもしれません。実際はブーム前にワゴンセール(涙)になっていました。

左には当時のカタログをスキャンして掲載しました。1/48リモコン戦車は今回発売された4種(カノン・74式・ビクター・スーパー・パットン)以外にあと2種類発売されていたのです。田宮さま、お願いです是非ともSバルカン戦車を再販して下さい!!